資料３

はつかいち未来ビジョン２０３５（案）
（廿日市市総合計画　基本構想）
（関係箇所抜粋）

2025（令和 7）年 7 月

廿日市市

第２部　これからのまちづくりに向けて

1　みんなで描いたまちの将来像

　総合計画の策定にあたっては、アンケート調査やヒアリング調査、ワークショップの開催を通じて、市民や本市にゆかりのある方など、多くの方から意見をいただきました。

市民アンケート

本市のまちづくりのターゲットに合わせ、小学生、中学生、高校生、大学生、子育て世代、若者移住者、高齢者を対象に、まちづくりのニーズを把握するアンケート調査を実施しました。

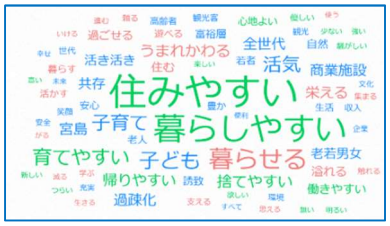
■回答者の属性

小学生	938	大学生	91	40 代	95
中学生	862	20 代	130	50 代	95
高校生	683	30 代	249	65 歳以上	460
				合計	3,603

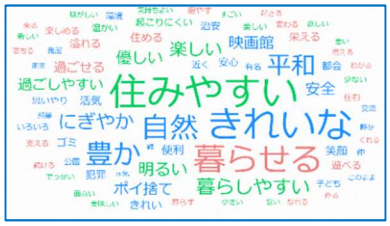
将来像に関するキーワードをテキストマイニング※を用いて抽出しました。

※テキストマイニングとは、文章を単語やフレーズに分解し、その意味を解析し、有益な情報を抽出する技術のことです。赤字が動詞、青字が名詞、緑字が形容詞を示しています。
出典：ユーザーローカル テキストマイニングツール（ https://textmining.userlocal.jp/ ）による分析

若者移住者

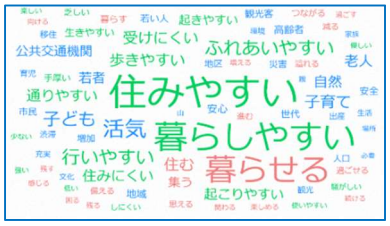


小学生

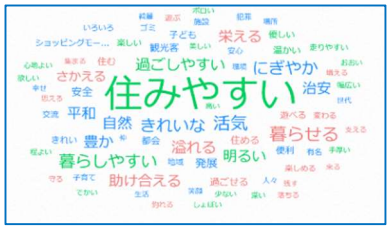


「住みやすい」や「暮らし」に関する単語が将来像のキーワードとして多くあがっています。

子育て世代

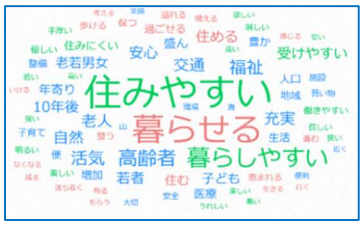


中学生

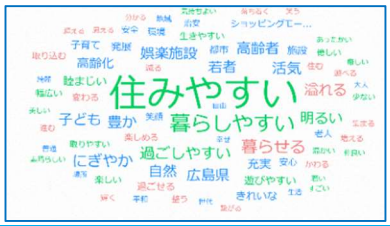


「こども」や「自然」、「豊かさ」なども複数の世代で共通するキーワードとなっています。

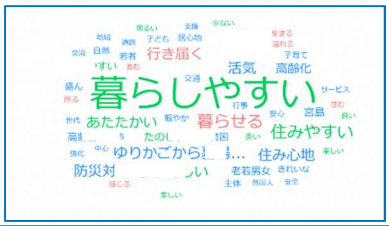
高齢者



高校生



大学生



【主な意見】

- 小学生、中学生、高校生、大学生では、「活気」や「楽しい」がキーワードとしてあがっており、**住んでいてワクワク感を感じるまちづくり**も望まれています。
- 特に若い世代を中心に**「こどもにやさしい」、「子育てしやすい」**と思うようなまちづくりが求められています。
- 高齢者では、医療福祉や公共交通といった生活環境の充実や**あらゆる面において「やさしさ」を感じる**まちづくりが求められています。

団体・事業者ヒアリング

まちづくりに関係する各分野の団体や事業者を対象に計 19 回のヒアリングを実施し、各分野の魅力やセールスポイント、目指すべき姿を聞き取りました。

【主な意見】

- **本市の強みとして歴史文化や自然環境、広島市に近い立地条件等が挙げられています。また、恵まれた住環境や充実した子育て支援などもまちの魅力としてあげられています。**
- **目指す姿では、地域や年代などに関わらず、誰もが暮らしやすいまちが求められています。**
- **恵まれた歴史文化や地域資源を活かした観光客や移住者に選ばれるまちづくりも重要な方向性として捉えられています。**

分野	魅力・セールスポイント	将来なってほしいまちの姿・イメージ
こども・子育て・教育	・県外からの問い合わせなどで、「子育てしやすいまち」と言われることが多い ・個性ある保育園や幼稚園が多く、子育て家庭にとって選択肢が多い	・社会全体でこどもから老人までが生き生きと生活できるまち ・佐伯高校が地域の小中学校を巻き込んだ探究学習を行うなど、地域に開かれた学びの推進
健康・福祉	・市総合健康福祉センターの相談支援拠点整備による福祉部門のワンストップ対応が可能 ・行政や関係団体間の多数の連携が進んでいる	・誰もが気軽に声をかけあえる福祉のまち ・大人、こども、高齢者、障がい者など、誰もが暮らしやすいまち
安全・安心	・５地域の消防団の連携が進んでおり、大規模災害に対応可能	・地域住民が消防・防災活動に対して理解を深め、地域安全に関心を持つまち ・災害が発生してもできるだけ最小限の被害にとどめる地域づくり
産　業	・世界遺産宮島があり、観光客を呼び込める ・広島市という大きなマーケットに隣接 ・市内の標高差が大きく、年間を通して多様な特産品を供給可能 ・木材加工や食品製造など特徴的な産業が立地 ・平良丘陵開発及び未来物流産業団地造成事業によって人の流れや流通市場が盛んになる	・市産材のブランド化を目指し、生産・製造・販売の「木のまち」を目指してほしい ・歴史・自然・文化を守りつつ、世界中から訪れた観光客に喜びと感動を与える島(まち) ・働く人に選ばれるまち ・仕事と暮らしが近いまちはつかいち
生涯学習・スポーツ・文化	・伝統的工芸品を有していること ・歴史も含め、文化的な素養が深いまちである ・女子野球タウンであること	・「文化度の高いまち」をめざしてほしい ・「廿日市市らしい」文化を明確にしていく ・多世代がスポーツに親しみやすいまちづくり
都市基盤・環境	・広島市中心部からのアクセスが良く、高速道路等の交通インフラが充実 ・都市がコンパクトで生活に必要なものが住居の近くで簡単に手に入るので便利 ・自然環境が充実	・中山間地域でも暮らしやすいまち ・交通インフラ、ショッピングセンター、医療機関、教育機関などの充実が必要
地域づくり・人権・多文化共生	・市民センターが地域に密着して活動しようとしている	・全ての市民がワンチームの廿日市市として手を携えて地域のまちづくり活動に取り組んでいる

地域づくり会議

中山間地域に位置する佐伯地域、吉和地域で地域の将来像や抱えている課題、今後必要となる取組、地域が目指すべき姿について話し合いました。

【主な意見】

- **人口減少等の多くの課題を抱える中山間地域ですが、これからも自然や住民同士のつながりといった強みを活かして、「変わらない」暮らしを続けていきたいという意見が多くありました。**
- **また、将来のまちづくりに向けては「安心して暮らせる環境づくり」「移住・定住の促進」などのキーワードが多く出ました。**

佐伯地域づくり円卓会議

開催概要	主な意見
各地区から計 35 名が集まり、佐伯地域でこれからも大切にしていきたいこと、理想の将来像など 3 つのテーマについて話し合いました。会議終了後には、「同じ思いを持つ人とつながりができたことを嬉しく思う」という感想が多く聞かれました。	地域の特徴では、豊かな自然の恵みや人の温かさ、そして歴史街道といった受け継がれてきた歴史文化が挙げられました。地域の将来像では、交通や買物環境の充実による「安心して暮らせる環境づくり」のほか移住定住によってまちが活性化していることが挙げられました。

開催風景

吉和地域づくり会議

開催概要	主な意見
「吉和地域づくりプラン」で示された地域づくりの取組を振り返り、良かったことや課題であったこと、これからチャレンジしていきたいことを話し合いました。また、会議終了後のロビーには残って話し合いを続ける参加者のみなさんの姿があり、こうした姿からも地域への愛情と熱い思いを感じました。	地域の強みとして、住民同士のつながりが強いことや、本市最北端に位置する地域性を活かした特徴的な産物が多くあることが挙げられました。今後取り組みたいことでは、地域資源を活かし、吉和全体をテーマパーク化することや、ネット環境の整備等を行い、移住者を増やすことなどが挙げられました。

開催風景

若者子ども夢会議

本市にゆかりのある中高生・大学生を含む若者が集まり、将来の夢や理想のまちの姿などについて語り合いました。また、廿日市特別支援学校の高等部３年生が将来の夢と理想のまちの姿を考え発表しました。

【主な意見】

- **10 年後の廿日市市の姿では、「交流・つながり」「にぎわう」に代表されるように市民同士がつながり、交流し、活気が生まれることによって、持続的に成長するまちづくりを求める声が多くありました。**
- **その他に「外国人」「受け入れる」などもキーワードとして挙がっており、国内国外を問わず、多様な価値観を受け入れ、ともに歩んでいくことのできるまちづくりが望まれていました。**

若者子ども夢会議

第１回　まちの将来像を考えてみよう！	第２回　まちの課題と課題解決のアイデアを考えよう！	第３回　将来のまちを想像して、新聞をつくろう！
自分の夢や実現したいことなどについて対話を重ね、最後に暮らす人みんなが幸せな理想のまちの姿を考えました。	理想のまちの実現に向けた課題と課題解決に向けたアイデアを検討し、特に「交流・つながり」についての意見が多く出ました。	第１回、第２回の内容をもとに想像を膨らませ、10 年後の廿日市市が、どんなまちになっているかを新聞形式で発表しました。
主な意見		
・若者がしたいことを実現しやすいまち ・こどもと大人が気軽につながることができる居場所が多いまち	・地域のイベントが減少しているため、つながりを持てる拠点をつくる ・就職先の選択肢が少ないため、高校生や大学生と企業のつながりを増やす	【参加者が考えた新聞の標題】 ・つながりのまち 廿日市市 ・日本一訪れたい街で高校生キャリア支援が始動 ・廿日市市、教育改革の新時代へ ・誰もが住みやすいまち 廿日市市

若者子ども夢会議 in 廿日市特別支援学校

・廿日市特別支援学校阿品台分校の生徒の皆さんと自分の夢、理想のまちの姿を考えました。
・将来の夢では、自分の好きなことを活かした個性豊かな夢をたくさん聞くことができました。
・理想のまちでは、住みやすいまちの姿やこんなお店や施設がほしいといった具体的な意見がありました。

2　将来像の検討

本市を取り巻く社会潮流や本市の魅力、アンケート調査やワークショップなどの市民参画をもとに、2035 年度に目指す「まちの将来像」に関するキーワードをまとめました。

(1) 考慮すべき社会潮流と本市の魅力

社会潮流	本市の魅力
人口減少社会、少子高齢化による**人口構造の変化** **防災意識の高まり**と**災害に強い**まちづくりの推進 **一極集中の是正**と**地方回帰**の動き **グローバル社会**への対応 **ともに支え合う社会**へ向けた動き **こどもまんなか社会の実現**に向けた動き **GX（グリーントランスフォーメーション）**の推進 **DX（デジタルトランスフォーメーション）**の推進	**多様な自然環境**を有するまち **魅力的な地域資源**を有するまち **快適に暮らせる**まち **特徴的な産業**を有するまち **まちづくり活動が盛ん**なまち **世界とつながる**まち **未来を見据え挑戦する**まち

(2) 市民参画を通じて見えてきたキーワード

(3)〔市民アンケート〕

○　若い世代を中心に*［子供にやさしい］*、*［子育てしやすい］*と思えるまちづくりが求められています。

○　*［活気］*や*［楽しい］*がキーワードとしてあがっており、*［ワクワク感を感じる］*まちづくりも望まれています。

○　高齢者世代では、*［医療福祉］*や*［公共交通］*といった*［生活環境の充実］*が求められているほか、あらゆる面において*［やさしさ］*を感じるまちづくりが求められています。

○　*［世界遺産 宮島］*に関する項目が市民の誇りとして、最も多くあげられています。

〔団体・事業者ヒアリング〕

○　*［歴史文化］*や*［自然環境］*、*［広島市に近い立地条件］*等の強みを有し、これらの恩恵も受け、宮島を中心とする観光業や木材・食料品などの*［特徴的な産業が発展］*しています。

○　地域や年代などに関わらず、*［だれもが暮らしやすいまち］*が求められています。

○　恵まれた歴史文化や地域資源を活かし、*［観光客や移住者に選ばれるまちづくり］*が求められています。

〔**市民ワークショップ**〕

○ ***［交流・つながり］***、***［にぎわう］***に代表されるように市民同士が***［つながり］***、交流し、活気が生まれることによって、［***持続的に成長するまちづくり***］が求められています。

○ ***［外国人］［受け入れる］***などもキーワードとして挙がっており、国内国外を問わず、***［多様な価値観を受け入れ］***、ともに歩んでいくまちづくりが求められています。

○ 人口減少等の多くの課題を抱えてはいるが、これからも***［変わらない］***暮らしをしていきたいという意見や、現在の地域を***［次世代へつないでいきたい］***という意見がありました。

(4) 将来像に関するキーワード

優しさでつながるまちづくり

キーワード：やさしさ/受け入れる/多様性/つながり・交流/ともに支え合う社会へ向けた動き

市民ニーズが多様化する中、**誰もが幸せに暮らせるまちづくり**が求められています。そのためには、子育て世代や高齢者、外国人など多様な市民が**お互いを受け入れ**、**つながり**、**支えあう**まちづくりを推進するとともに、都市基盤の整備などあらゆる面において**「優しさ」を感じるまちづくり**が求められています。

歴史への敬意・資源の活用・未来への継承

キーワード：世界遺産（厳島神社）/つなぐ・つなげる/変わらない

先人から脈々と受け継がれてきた、世界遺産宮島をはじめとする歴史文化や地域資源は、**本市の宝**であり、現在もこうした資源を活用した産業が本市を支えています。これからも歴史をつないできた**先人への敬意を持ち続ける**とともに、こうした資源を時代に合った形で活用し、**未来へつないでいくこと**が求められています。

ワクワクする未来への挑戦

キーワード： GX の推進/DX の推進/活気/楽しい/ワクワク/にぎわい

現在は、未来を見通すことが難しい時代と言われている一方で、様々な技術革新や新しい価値観の台頭など見方を変えれば、**可能性は無限**にあります。可能性を活かし、市民みんなが**ワクワクする未来**を実現するため、将来を見据え、**果敢にチャレンジ**を繰り返していくことが求められます。

第３部　基本構想

1　まちづくりの基本理念

本計画全体に浸透させるまちづくりの理念を「市民一人ひとりがともに幸せに暮らせるまちづくり」とし、すべての市民が日々の暮らしに幸せを感じ、明日に希望を持つことができるまちづくりを進めます。

市民一人ひとりがともに
幸せに暮らせるまちづくり

価値観が多様化し、社会情勢が大きく変化する現在において、市民一人ひとりが自分らしく幸福な生活を送るためには、心身の健康と社会的環境が整い、地域内外で広範囲につながり、支え合い、それぞれが持てる力を存分に発揮し活躍できるまちをつくることが重要です。

「市民一人ひとりがともに幸せに暮らせるまちづくり」を基本理念に、現在、そして将来の市民が、いつまでも住み続けたい、住んでみたい、まちを目指します。

また、すべての人々の人権が互いに尊重される平和な社会を実現するため、「平和の希求」と「人権の尊重」を普遍的な理念として位置づけます。

2　まちの将来像

(1) 将来像

本計画の推進によって 2035（令和 17）年度に目指すまちの姿です。

安心に包まれ ワクワクが広がる
未来への挑戦を楽しむまち
つなぎ つながり ともに歩む

■　安心に包まれ、ワクワクが広がる

「安心」は、市民が心身ともに健康で安全に快適な生活を送ることができる優しさに満ちた「安心感のあるまち」をイメージし、安心や安らぎを感じる状態を「包まれ」で表現しています。

「ワクワク」は、誰もが未来に向かって「ワクワク」し、これからの暮らしに希望を持てるまちの姿をイメージし、希望が心の中でどんどん大きくなり、みんなにもその感情が伝わる様子を「広がる」で表現しています。

二つの要素が調和し、「安心」をベースに、毎日を「ワクワク」、明日は今日よりもっと良くなるという希望を持った暮らしを送ることができるまちを目指します。

■　未来への挑戦を楽しむまち

現在は、未来を見通すことが難しい時代と言われています。その一方で様々な技術革新や新しい価値観の台頭など、見方を変えれば可能性は無限にあります。こうした可能性を活かし、これまで先人から受け継いできたこのまちを未来へつなぐための、果敢な挑戦をまち全体で行っていきます。

また、挑戦の主体は、行政、企業、市民など様々考えられますが、それぞれが挑戦を楽しむとともに、それぞれの挑戦を応援し合う風土を醸成していきたいという思いを「楽しむ」に込めています。

■　つなぎ つながり ともに歩む

これからのまちづくり（未来への挑戦）は、それぞれの主体が単独で取り組んでいては、様々な要素が複合した課題の解決は困難です。長い歴史に育まれた文化や豊かな自然をつなぎ、廿日市市に関わりのある様々な人がつながり、互いに支え合いながら、ともに未来への挑戦に取り組んでいくという思いを込めています。

(2) 将来像の実現に向け、大切にする考え方

将来像の実現に向けて、４つの「大切にする考え方」を設定しました。

この考え方は、本市の特性や本市を取り巻く社会潮流、市民の意見を踏まえて、導き出したものであり、全ての施策分野に共通する重要な視点です。

①　社会変化に対応した持続可能なまちづくり

人口減少・少子高齢化や、気候変動問題など、社会情勢が変化する中にあっても、希望ある未来を次世代へつなぐために、あらゆる分野において長期的な視点を持ち、自然環境と社会・経済の健全なバランスを保ちながら、持続可能性を重視したまちづくりに取り組みます。

②　安全・安心な暮らしの確保

まちづくりの根底にあるのは、市民が安全に安心して暮らせる環境です。市民の暮らしを守る体制を整え、快適に生活できる社会基盤を整備し、誰もが住みやすいまちづくりに取り組みます。

③　多様性と包摂性のある地域社会の実現

性別、年齢、国籍、障がいの有無等に関わらず、すべての市民が他者との違いを受け入れ、個性を尊重しあい、自分自身の可能性を最大限に発揮できるまちづくりに取り組みます。

④　多様な主体によるまちづくり

市民、団体、企業、地域、行政など、多様な主体がそれぞれの立場を理解し、強みや個性を活かしながら、ともに支え合い、地域の課題解決に向けて協力、挑戦できるまちづくりに取り組みます。

4　施策の方向性

将来像の実現に向けた方向性を整理し、8 つの施策分野と各分野の 2035 年度のまちの姿を設定しました。これらの実現に向けて、基本計画で施策を体系化し、取組を推進します。

基本理念

市民一人ひとりがともに幸せに暮らせるまちづくり

まちの将来像

安心に包まれ ワクワクが広がる 未来への挑戦を楽しむまち

つなぎ つながり ともに歩む

将来像の実現に向け、大切にする考え方

① 社会変化に対応した持続可能なまちづくり
② 安全・安心な暮らしの確保
③ 多様性と包摂性のある地域社会の実現
④ 多様な主体によるまちづくり

将来のまちの姿と施策分野

1.こども・子育て・教育

みんなで子育てを支え、
こどもの成長に喜びを感じられるまち
こどもが心身ともに健やかに成長し、自らの
可能性を信じてチャレンジ・自己実現できるまち

2.健康・福祉

つながり、支え合い、笑顔で暮らせるまち

3.安全・安心

誰もが安全に、安心して過ごせるまち

4.産業

「はつかいちらしさ」を活かし、
地域経済の好循環により発展するまち

5.生涯学習・スポーツ・文化

生涯にわたって自分らしく
心豊かに暮らせるまち
歴史や伝統文化を守り、活かし、伝えるまち

6.都市基盤

安全・安心で快適に暮らせる
都市機能が充実しているまち

7.環境

自然と社会が共生できるまち

8.地域づくり・人権・多文化共生

誰もが学び、つながり、活躍することで、
地域らしさをともに守り創れるまち
誰もが他者との違いを認め合い、
安心して暮らせるまち

5　各分野の目指す姿

1　こども・子育て・教育

2035 年度のまちの姿

みんなで子育てを支え、こどもの成長に喜びを感じられるまち

－こども・若者が幸せに育っています。

－保護者が子育てに伴う喜びを感じています。

こどもが心身ともに健やかに成長し、自らの可能性を信じてチャレンジ・自己実現できるまち

－こどもが自らの可能性を信じて未来に向けて挑戦しています。

こどもを中心にまち全体に笑顔が広がっており、地域や企業など多様な主体で子育てを支えています。また、妊娠期から子育て期まで、全てのこどもと保護者が切れ目なく必要な子育てサービスを受けることができ、安心して子育てができる環境の中でこどもが希望を持って健やかに成長しています。加えて、こどもや若者が安心して意見を伝える多様な機会が確保され、その声が反映された施策やまちづくりが進められています。そして、多くの若者が自分の将来を明るく見通しています。

学校教育においては、地域全体でこどもの学びに関わり、一人ひとりの良さや可能性を伸ばしつつ、人生を切り拓いていくために必要な「生きる力」を育んでいます。その上で、こどもは多様性を認め合いながら他者と協働し、みんなが安心して暮らせる社会の創り手として成長しています。

これらを通じて、こどもが「ふるさと廿日市」に対する愛着と誇りを持ち、急激に変化する時代においても、廿日市市で培った知識や経験を生かしつつ、心も身体も満たされた状態で健やかに暮らしています。

市民の声

【子育て】

✓　廿日市市は、**子育てしやすいまち**というイメージが市民に定着しています。

✓　これからも子育て世帯を「**地域全体でサポートするまちづくり**を進めてほしい」という声が多くあります。

【教育】

✓　学生世代からは、「**”はつかいち”らしさ**を生かした教育プログラムや地域と連携した学びを通じて、**多様な能力が求められる**今後の社会で活躍できる力を身につけたい」という声がありました。

モニタリング指標

指標	現況値	方向性
普段の生活の中で幸せな気持ちになっているこどもの割合	90.3%（未就学児） （7 月末）（小学 6 年生） （7 月末）（中学 3 年生）	↗
子育てに伴う喜びを感じている保護者の割合	84.0%	↗
将来の夢や目標は、かなうと思う児童生徒の割合	75.8%	↗
努力すれば、自分もたいていのことはできると思う児童生徒の割合	88.6%	→

5 生涯学習・スポーツ・文化

2035 年度のまちの姿

生涯にわたって自分らしく心豊かに暮らせるまち

－学びやスポーツ・文化芸術を楽しむ環境が充実し、市民の誰もがいきいきと自分らしく暮らしています。

歴史や伝統文化を守り、活かし、伝えるまち

－市民が、市の歴史や伝統文化に誇りと愛着を持ち、次世代へ継承しています。

市民がともに学んだり、対話を重ねることを通じて、地域内に人と人のつながりが生まれるとともに、学んだことを地域社会に生かす市民が増えています。

スポーツや文化芸術に親しむことで、市民の健康づくりや生きがいにつながっています。また、活動を通じて仲間との交流が生まれ、いきいきと心豊かに暮らしを楽しんでいます。

また、市民が、市の歴史や伝統文化に誇りや愛着を持ち、市外から訪れる人にもその価値を伝え、次世代に継承しています。宮島では、普遍的な価値を次世代に継承するため、住民や関連団体など多様な人々が活動し、伝統的な建物や暮らしの魅力を体感できる場や機会が提供されています。

市民の声

【文化】

✓ 廿日市市は、**文化芸術に触れる機会がたくさんあるまち**です。

✓ **文化芸術が日常生活の一部**として溶け込み、気軽にイベントや展覧会へ足を運んでもらえるようなまちづくりが進んでほしいという声もあります。

【伝統】

✓ 「神楽」など魅力的で価値のある伝統文化がたくさんありますが、**後継者不足が深刻**です。担い手の育成などを進めて、これまで受け継がれてきた価値を**次世代へ繋いでいく**ことが求められています

モニタリング指標

指標	現況値	方向性
日頃の生活に充実感を感じている市民の割合	55.7%	↗
市の歴史や伝統文化に誇りや愛着を持っている市民の割合	43.3%	↗